



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社秀英予備校
代表者名 代表取締役社長 渡辺 武
(コード：4678、東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 田中 耕治
(TEL. 054-252-1792)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 8 日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

1. 特別損失の計上について

個人消費の落ち込みにより売上高・収益が計画を下回っており、十分な生徒数確保が難しくなった校舎（北海道 2 校舎、神奈川県 1 校舎、岐阜県 1 校舎、愛知県 1 校舎、福岡県 1 校舎、計 6 校舎）については、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、特別損失 83 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 27 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	11,390	150	120	△3,127	△466.04
今 回 修 正 予 想 (B)	11,259	78	27	△3,257	△485.47
増 減 額 (B - A)	△130	△71	△92	△130	
増 減 率 (%)	△1.2	△47.9	△76.9	—	
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 2 6 年 3 月 期)	11,767	154	109	△1,518	△226.26

3. 修正の理由

(業績予想の修正理由)

わが国経済は、円安の進行で輸出企業を中心に業績を大きく伸ばしておりますが、消費増税の導入により個人消費が落ち込んでいます。当業界におきましては市場規模は横ばい状態で推移しておりますが、個別型、集団型を問わず、教場新設が活発化し、かつてない過当競争の様相を呈しています。

このような情勢の下、生徒数が著しく減少している校舎を閉鎖し、成長が期待できる部門に経営資源を集中することと致しましたが、生徒数の減少により回復に至っておりません。

この結果、売上高におきましては前回（平成26年10月31日）公表を下回る見込となりました。また、売上高の減少に伴い営業利益及び経常利益も減少し、前述の特別損失の計上により当期純利益においても前回（平成26年12月30日）公表を下回ることになりました。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上